No.３１８２

曼珠沙華と異国の文化にふれる
巾着田・高麗の郷めぐり

実施日　２０２４年９月２９日(日)
天　候　曇り
リーダー　渋谷　京子
参加者　若村貴世子、若村勝昭、涌井良明、石附智江、渋谷京子、伊藤久雄、山内幸子、（G･永井智子）計8名
費　用　1,025円（池袋起算）
タイム　高麗駅(10:00)高麗石器時代住居跡(10:10~10:15)巾着田(10:25~11:10)聖天院(11:50~12:30)高麗神社(12:40~13:10)バス(13:30～13:40)高麗郷古民家(13:45~14:15)あいあい橋～巾着田(14:20~15:00)高麗駅(15:15)

曼珠沙華の開花が夏の猛暑で花芽がつかず1週間遅れの実施となった。
降りたった高麗駅は観光客でごった返しており巾着田の人気ぶりが伺えた。
メンバーが揃い散策マップを広げコース確認して出発！道標に従い左に

進むと高麗石器時代住居跡、縄文時代中期のもので礎石などが残る。
巾着田への道は地元野菜、手作りのみやげ物で飽きさせない。鹿台橋を渡り右に行くと入口、咲いてる咲いてる曼珠沙華！白いのも綺麗。
秋の彼岸には500万本の曼珠沙華が赤い絨毯を敷き詰めたように咲きわたるそうだ。高麗川沿いに導かれ両側に咲く花にカメラを向けながら進むと出入り口、入場料500円を払うとその先は本当に絨毯のよう！

再入場が出来るそうで帰りに立ち寄ることにした。途中酔芙蓉の花道を愛でながら聖天院へ向かった。ここからは登りの舗装道路が延々と続く。
カワセミ街道をひたすら行くと左手

に高麗一族ゆかりの聖天院、荘厳な山門が目を引く。駅から休憩場所がなく歩きどうしであった。丁度昼時漸く池の脇で腰をおろし昼食タイム、のどかな里で良いところ～！！

さらに進むと高麗神社、高麗王若光を祀る神社でいつも多くの人で賑わっている。こちらも荘厳な社殿であった。巾着田への無料シャトルがあるらしい。メンバー意見一致、少し疲れ気味だったので天の助け？
あっと言う間に到着、立派な高麗郷古民家に立ち寄り散策を楽しんだ。

巾着田、古民家は7年前に上皇様上皇后様も立ち寄られているそう。
古民家を後にし、あいあい橋に向かう。木製トラス構造の橋としては日本一の長さである。橋の下にも沢山曼珠沙華が咲いている。
さて巾着田に戻り客も少し落ち着き集合写真に収まり最後の花々を満喫した。

朝きた道を戻り駅に着きゴールとなった。
山歩きでは有りませんが目一杯花歩きを堪能できたでしょうか？
一部コースを変えてゲストのＮさん始め皆さん賑やかで楽しい里歩きに
なりました。ご参加頂き有り難うございました。又、ご一緒に～！
（記・渋谷　京子）
（写真提供・涌井良明／伊藤久雄）